

○ 現行学校教育の課題と課題解決に向けた新たな教育制度（イメージ）

【新たな教育制度】

一 貫 教 育 制 度



児童生徒	幼稚園等	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年	高校等
問題	◇ 基本的な生活習慣の未定着 【小1プロブレム】					◇ 学習内容の理解が不十分な児童の増加 ◇ いじめ増加 ◇ 肥満児童の増加		◇ 学習内容の理解が不十分な生徒の増加 ◇ いじめ、不登校などの学校不適応の急増 ◇ 学習意欲の低下 ◇ 学習方法の未定着	◇ 不登校の増加	◇ 夢や希望の欠如 ◇ 目的をもたない進路選択 ◇ 不登校の増加	

小1ギャップ

小5ギャップ

中1ギャップ

幼稚園教育要領や保育所保育指針に基づき、各園各所が独自の教育を展開しており、小学校入学までに確実に身につけたたい力の定着が不十分。
⇒ 小学校の円滑な接続の改善

教育内容の特性の変化、児童の二次性徴期などが重なりが主な原因と考えられる。
⇒ 小学5年の教育充実

教育内容の特性、変化に加え、新たな教科（外国語）や部活動、交友関係への不安、教科担任制の戸惑いなどが主な要因と考えられる。
⇒ 小学5・6年の教育充実
⇒ 中学との円滑な接続の改善

教育内容	幼稚園等		小学1年		小学5年		中1年							
	知育	徳育	生活	総合的な学習の時間	国・算・音・図	道徳・特別活動	家庭科	総合的な学習の時間						
内容特性	徳育	体育	総合的な学習の時間	社会、理科	社会、算、音、図	道徳、特別活動	道徳、特別活動	家庭科	総合的な学習の時間	社会、理科	国、算、音、美	道徳、特別活動	保健体育	形式操作中心
指導方法	6年間を見通し発達段階に応じた指導・体験学習 学級担任による授業（全教科）		6年間を見通し発達段階に応じた指導・体験学習 学級担任による授業（全教科）		6年間を見通し発達段階に応じた指導・体験学習 学級担任による授業（全教科）		6年間を見通し発達段階に応じた指導・体験学習 学級担任による授業（全教科）		3年間を見通し発達段階に応じた指導及び体験学習 学級担任による授業（道徳、特別活動等）		教科担任による指導（道徳、特別活動を除く教科等） 習熟度別学習の一部導入		習熟度別学習の一部導入	

○内容の難易の脱差

○内容の難易の脱差

○内容の難易の脱差